

事業№	事業名	社会福祉協議会 日常生活自立支援事業補助金				担当部署	部名	福祉保健部
		(社会福祉団体等対策事務費)					課名	社会福祉課
045							電話	82-1951
事業期間		開始年度	平成 23 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち					款	民生費
	政策名(章)	第 2 章 やさしさに包まれたまちづくり					項	社会福祉費
	施策名(節)	第 1 節 地域で支え合う福祉の推進					目	社会福祉総務費
	実施計画掲載	有	13 頁	個別計画				
根拠法令・要綱等		射水市補助金等交付規則						

事業目的	対象	社会福祉法人 射水市社会福祉協議会						
	意図	日常生活自立支援事業の実施体制の確立を図る。						
事業内容	手段	補助金等の交付を受ける実施する主な活動						
		認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が不十分な方が、地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等を行う。						

補助金事業	類型区分	団体運営費補助	☐	事業費補助		施設等整備費補助		政策的補助	
		格差是正補助		利子補給		その他 ()			
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)						
		定額補助	予算の範囲内で交付する。						
		定率補助							
	☐ その他								

施設管理運営事業	施設名					管理形態			
						指定管理者名			
	構造・階数					指定管理期間			
	建築年度		改修年度		類似施設状況				
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況				
設備・規模									

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成22年度	平成23年度	平成24年度				

その他	特記事項等	平成23年度は、24年度からの事業実施に向けての準備のため、半年分を補助した。
-----	-------	---

事業 №	45	事業 事業名	社会福祉協議会 日常生活自立支援事業補助金	担当課	社会福祉課
---------	----	-----------	-----------------------	-----	-------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 ()	人					
	② 事業利用契約件数	件	—	16	18	112.5	23
	③						

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	事業コスト				
	直接事業費 (補助金等交付額)	千円	2,645 千円	皆増	5,190 千円
	(補助金等交付件数)	(件)	(1 件)	皆増	(1 件)
	正規職員人件費相当額	千円	408 千円	皆増	408 千円
	退職手当引当金相当額	千円	57 千円	皆増	57 千円
	事業コスト計	千円	3,110 千円	皆増	5,655 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
財源内訳	一 般 財 源	千円	3,110 千円	皆増	5,655 千円
	当 該 事 務	正規職員	人	0.06 人	0.06 人
	従 事 職 員 数				
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	—	—		
	うち一般財源ベース分	—	—		

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	認知症高齢者等の事業対象者は、年々増大することが見込まれるため、事業実施のための補助金交付は妥当である。
有 効 性	3	成果指標に表せる具体的な成果は表れていないが、市民の福祉向上のため、必要な事業である。
効 率 性	4	市社会福祉協議会により、適切に事業が行われている。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
市民の福祉向上のため、必要な事業であり、今後ますますニーズが高くなっていくものと考えられる。市社会福祉協議会に補助することにより、事業が継続的に実施できるものと考えている。					

事業№	事業名	遺族会等援護費				担当部署	部名	福祉保健部
							課名	社会福祉課
046							電話	82-1951
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち					款	民生費
	政策名 (章)	第 2 章 やさしさに包まれたまちづくり					項	社会福祉費
	施策名 (節)	第 1 節 地域で支え合う福祉の推進					目	社会福祉総務費
	実施計画掲載	無		個別計画				
根拠法令・要綱等								

事業目的	対象	誰を・何を	戦没者遺族を含む全市民
	意図	どのような状態に	太平洋戦争等における射水市の戦没者を追悼し、世界平和を祈念する。
事業内容	手段	どのような方法で	射水市戦没者追悼式を開催する。

補助金事業	類型区分							
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)					

施設管理運営事業	施設名					管理形態	
						指定管理者名	
	構造・階数					指定管理期間	
	建築年度		改修年度		類似施設状況		
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況		
	設備・規模						

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度	平成24年度				
	整備内容							

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 №	46	事務 事業名	遺族会等支援費	担当課	社会福祉課
---------	----	-----------	---------	-----	-------

指 標 名			単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度
					目標・見込	実績	達成率	目標・見込
成果指標	①	利用者数 ※設定できる場合 (戦没者追悼式出席者数)	人	200	200	200	100.0	200
	②							
	③							
活動指標	①	戦没者追悼式開催時間 (準備等含む)	時間	80	80	80	100.0	80
	②							
	③							

事業費			平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・人件費	事業コスト	直接事業費 (臨時職員人件費含む)	459 千円	413 千円	▲ 10.0	510 千円
		正規職員人件費相当額	1,242 千円	1,224 千円	▲ 1.4	1,224 千円
		退職手当引当金相当額	180 千円	171 千円	▲ 5.0	171 千円
		事業コスト計	1,881 千円	1,808 千円	▲ 3.9	1,905 千円
	財源内訳	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
		そ の 他	千円	千円		千円
		一 般 財 源	1,881 千円	1,808 千円	▲ 3.9	1,905 千円
当該事務 従事職員数	正規職員	0.18 人	0.18 人	0.0	0.18 人	
	臨時職員	人	人		人	
	利用者1人当たりコスト	9.41 千円	9.04 千円	▲ 3.9		
	うち一般財源ベース分	9.41 千円	9.04 千円	▲ 3.9		

評価項目	点数	説 明
必 要 性	3	今日の国の繁栄の礎となった戦没者を追悼し、平和を祈念することは、継続的に必要なことである。
有 効 性	4	国、県、各市町村において、それぞれ追悼式が行われている。
達 成 度	4	例年、市遺族会のほか、多くの来賓の出席のもと開催している。
効 率 性	3	なるべく経費がかからないよう事務見直しに努めている。

評価結果 (1次)	A	現行 (計画) どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
第二次世界大戦等の犠牲者の追悼と戦争の惨禍を後世に伝え続けながら、次の世代に平和への想いを受け継いでいくため、引き続き、市として戦没者追悼式を開催する必要がある。 今後は、事業委託の検討等を行い、更なる経費節減に努める。					

事業№	事業名	遺族会補助金				担当部署	部名	福祉保健部
		(遺族会等援護費)					課名	社会福祉課
047							電話	82-1951
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち					款	民生費
	政策名(章)	第 2 章 やさしさに包まれたまちづくり					項	社会福祉費
	施策名(節)	第 1 節 地域で支え合う福祉の推進					目	社会福祉総務費
実施計画掲載		無		個別計画				
根拠法令・要綱等		射水市補助金等交付規則						

事業目的	対象	交付先	射水市遺族会
	意図	交付目的	射水市遺族会の活動と組織(5支部)の強化を図るために要する経費について、その一部を支援する。
事業内容	手段	補助金等の交付を受ける主な活動	戦没者遺族の福祉増進に貢献する各種活動や全国・富山県戦没者追悼式の参列、立山の塔(沖縄県)等への慰霊行事への参加、研修会の実施等

補助金事業	類型区分	☐ 団体運営費補助	☐ 事業費補助	☐ 施設等整備費補助	☐ 政策的補助	
		☐ 格差是正補助	☐ 利子補給	☐ その他()		
	補助内容	補助区分	算出方法(対象経費・基準単価・補助率・上限額等)			
		☐ 定額補助	50,000円(基本割)×5支部+700円(世帯割)×会員世帯数			
		☐ 定率補助				
	☐ その他					

施設管理運営事業	施設名					管理形態				
						指定管理者名				
	構造・階数					指定管理期間				
	建築年度		改修年度		類似施設状況					
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況					
	設備・規模									

施設等整備事業	総事業費		財源内訳(千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
		平成22年度	平成23年度	平成24年度					
	整備内容								

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 №	47	事務 事業名	遺族会補助金	担当課	社会福祉課
---------	----	-----------	--------	-----	-------

指 標 名				単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度
						目標・見込	実績	達成率	目標・見込
成果 指標	①	利用者数 ※設定できる場合 (射水市遺族会会員世帯数)		人	1022	980	988	100.8	980
	②								
	③								

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	直接事業費 (補助金等交付額)	1,060 千円	942 千円	▲ 11.1	908 千円
	(補助金等交付件数)	(1 件)	(1 件)	0.0	(1 件)
	正規職員人件費相当額	483 千円	476 千円	▲ 1.4	476 千円
	退職手当引当金相当額	70 千円	67 千円	▲ 5.0	67 千円
	事業コスト計	1,613 千円	1,485 千円	▲ 8.0	1,451 千円
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	1,613 千円	1,485 千円	▲ 8.0	1,451 千円
財源内訳	当 該 事 務	正規職員	0.07 人	0.0	0.07 人
	従 事 職 員 数				
	利用者 1 人 当 たり コ ス ト	1.58 千円	1.50 千円	▲ 4.8	
	うち一般財源ベース分	1.58 千円	1.50 千円	▲ 4.8	

評価項目	点数	説 明
妥 当 性	4	遺族会が犠牲者の追悼と戦争の惨禍を後世に伝える活動を続けながら、次の世代に平和への想いを受け継いでいくため、継続的な市の支援は必要である。
有 効 性	3	会員の高齢化、会員数の減少は避けられないが、会の活動は、継続して、活発に行われている。
効 率 性	4	平成23年度から補助基準を見直した。

評価結果 (1次)	A	現行どおり補助することが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
本補助金は、主に遺族会の各種活動に利用されており、遺族会の組織強化、会員同士の交流、遺族の福祉増進に貢献している。しかしながら、時代の流れもあり、毎年、会員の高齢化や減少は避けられない状況であり、将来的な補助のあり方について、検討する。					

事業№	事業名	法外援護費				担当部署	部名	福祉保健部
							課名	社会福祉課
048							電話	82-1951
事業期間		開始年度	平成 17 年度	終了年度	—	予算科目	会計	一般会計
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち					款	民生費
	政策名 (章)	第 2 章 やさしさに包まれたまちづくり					項	生活保護費
	施策名 (節)	第 1 節 地域で支え合う福祉の推進					目	生活保護総務費
	実施計画掲載	無		個別計画				
根拠法令・要綱等		行旅病人及び行旅死亡人取扱法						

事業目的	対象	誰を・何を	①行旅病人、行旅死亡人 (氏名、住所不明者) ②行旅人
	意図	どのような状態に	①行旅病人の救護、行旅死亡人の埋葬又は火葬 ②行旅人に必要最低限の旅費を貸付ける。
事業内容	手段	どのような方法で	・行旅病人を救護し、関係者に通知する。(扶養義務者があれば救護費用の弁償を求める。) ・行旅死亡人の埋葬又は火葬を行い、公告し、関係者に通知する。(扶養義務者があれば葬祭費用の弁償を求める。) ・行旅死亡人の遺留金品を処分する。 ・行旅人の旅費の貸付け

補助金事業	類型区分							
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)					

施設管理運営事業	施設名					管理形態			
						指定管理者名			
	構造・階数					指定管理期間			
	建築年度		改修年度		類似施設状況				
	耐震の有無		延床面積		民間施設状況				
	設備・規模								

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		平成22年度	平成23年度			平成24年度		
	整備内容							

その他	特記事項等	
-----	-------	--

事業 №	48	事務 事業名	法外援護費	担当課	社会福祉課
---------	----	-----------	-------	-----	-------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 (行旅病人・死亡人支援者数)	人	2	5	0	0.0	5
	② 行旅病人・死亡人援護費	千円	270	375	0	0.0	375
	③ 行旅人旅費貸付け件数	件	6	40	2	5.0	30
活動 指標	① 警察からの行旅死亡人連絡件数	件	2	5	0	0.0	5
	②						
	③						

事業費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	事業コスト				
	直接事業費 (臨時職員人件費含む)	272 千円	1 千円	▲ 99.6	384 千円
	正規職員人件費相当額	414 千円	272 千円	▲ 34.3	408 千円
	退職手当引当金相当額	60 千円	38 千円	▲ 36.7	57 千円
	事業コスト計	746 千円	311 千円	▲ 58.3	849 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	269 千円	0 千円	皆減	375 千円
財源内訳	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	477 千円	311 千円	▲ 34.8	474 千円
	当 該 事 務				
	従 事 職 員 数	正規職員 0.06 人	0.04 人	▲ 33.3	0.06 人
		臨時職員 人	人		人
利用者1人あたりコスト		373.00 千円	—	皆減	
	うち一般財源ベース分	238.50 千円	—	皆減	

評価項目	点数	説 明
必 要 性	4	身元不明者の援護は、市町村の責務となっている。
有 効 性	4	行旅病人・死亡人の援護は他の実施機関では難しく、市町村の支援が有効な制度である。
達 成 度	4	警察から連絡があったケースについて全て支援を行っている。
効 率 性	4	効率性を重視する内容ではない。

評価結果 (1次)	A	現行 (計画) どおり事業を進めることが適当	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)			評価委員会のコメント		
法律に沿って業務を行う。 行旅人旅費の貸付けについては、現物給付にするなど検討の余地がある。					

事業№	事業名	新湊交流会館管理費				担当部署	部名	福祉保健部
		049					課名	社会福祉課
事業期間		開始年度	平成 23 年度	終了年度	—	予算科目	電話	82-1951
総合計画	施策の大綱	第 1 部 健康でやさしさあふれるまち					会計	一般会計
	政策名(章)	第 2 章 やさしさに包まれたまちづくり					款	民生費
	施策名(節)	第 1 節 地域で支え合う福祉の推進					項	社会福祉費
実施計画掲載		無		個別計画		目	社会福祉施設費	
根拠法令・要綱等		射水市新湊交流会館条例、射水市新湊交流会館条例施行規則						

事業目的	対象	施設の利用対象	全市民
	意図	施設の設置目的	社会福祉と生活の維持向上のための場として、福祉の増進を図ることを目的に設置する。
事業内容	手段	施設が実施する主な活動	福祉活動の拠点施設として、次に係る便宜を総合的に供与する。 ・社会福祉に関する啓発や社会福祉活動 ・各種の相談、健康の増進、教養の向上、レクリエーション等

補助金事業	類型区分							
	補助内容	補助区分	算出方法 (対象経費・基準単価・補助率・上限額等)					

施設管理運営事業	施設名	新湊交流会館				管理形態	市直営		
	構造・階数	鉄筋コンクリート造・一部2階建				指定管理者名			
	建築年度	平成 8 年度	改修年度	平成 22 年度	類似施設状況	県施設	—	市施設	2
	耐震の有無	有	延床面積	736.80 m ²	民間施設状況	大島地区1施設			
	設備・規模	会議室39m ² 、研修室48m ² 、ホール75席156m ² 、心身障害者連合会室、ボランティアルームほか							

施設等整備事業	総事業費		財源内訳 (千円)	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	整備内容	平成22年度		平成23年度		平成24年度		

その他	特記事項等	平成23年度から社会福祉課に所管替えしている。 施設の管理運営を社会福祉法人射水市社会福祉協議会に委託している。 射水市中心身障がい者連合会が入居しているほか、市内の福祉ボランティア団体の活動拠点となっている。
-----	-------	---

事業 №	49	事 務 事業名	新湊交流会館管理費	担当課	社会福祉課
---------	----	------------	-----------	-----	-------

指 標 名		単位	H22年度 実績	H23年度			H24年度 目標・見込
				目標・見込	実績	達成率	
成果 指標	① 利用者数 ※設定できる場合 (施設利用者数)	人	1,295	6,000	6,481	108.0	6,200
	② ※平成22年度は23年1月～3月分						
	③						
活動 指標	① 利用可能日数 ※平成22年度は23年1月～3月分	日	67	299	299	100.0	301
	②						
	③						

事 業 費		平成22年度決算	平成23年度決算	伸率	平成24年度予算
事業費・ 人件費	事業コスト				
	直接事業費 (臨時職員人件費含む)	千円	8,661 千円	皆増	9,100 千円
	正規職員人件費相当額	千円	408 千円	皆増	408 千円
	退職手当引当金相当額	千円	57 千円	皆増	57 千円
	減価償却費相当額	千円	5,221 千円	皆増	5,221 千円
	事業コスト計	千円	14,347 千円	皆増	14,786 千円
	財源内訳				
	国 県 支 出 金	千円	千円		千円
	施設使用料	千円	483 千円	皆増	635 千円
	そ の 他	千円	千円		千円
	一 般 財 源	千円	13,864 千円	皆増	14,151 千円
	当 該 事 務				
	従 事 職 員 数				
	正規職員	人	0.06 人	皆増	0.06 人
	臨時職員	人	人		人
	利用者1人当たりコスト	—	2.21 千円	皆増	
	うち一般財源ベース分	—	2.14 千円	皆増	

評価項目	点数	説 明
必 要 性	4	新湊地区の中心的な社会福祉施設であり、福祉ボランティア活動及び射水市中心身障がい者連合会の拠点施設としても活用されている。
有 効 性	4	成果指標目標を上回っている。
達 成 度	4	活動指標目標は達成している。
効 率 性	1	社会福祉法人射水市社会福祉協議会に委託し、効率的な管理やサービス向上に努めているが、指定管理制度の導入等、管理運営体制の見直しの余地がある。

評価結果 (1次)	B	管理運営の改善が必要	評価結果 (2次)		
評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)			評価委員会のコメント		
現在は、射水市社会福祉協議会に管理運営を委託しているが、今後は、指定管理制度を導入し、更なる効率化に努める。					